

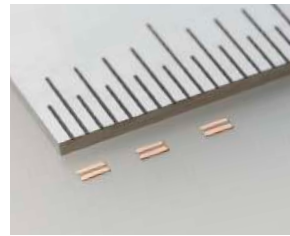
営業概況 At a Glance

コンデンサ

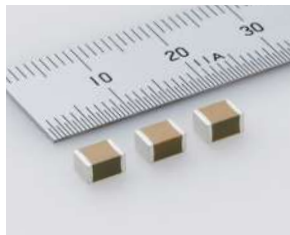
■ 積層セラミックコンデンサ



超小型積層セラミックコンデンサ
0201サイズ(0.25mm×0.125mm)

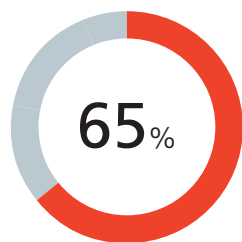


超低背積層セラミックコンデンサ
(0.6mm×1.0mm)
薄さ0.064mm

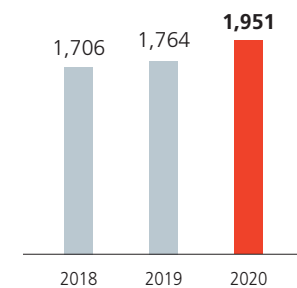


小型大容量積層セラミックコンデンサ
4532サイズ(4.5mm×3.2mm)
1,000μF

売上構成比
(2020年度)



売上高の推移
(単位：億円)



小型、薄型、大容量、高信頼性の積層セラミックコンデンサの開発に注力しています。誘電体の材料技術、薄層・大容量化技術および超小型品生産技術などを高度化することにより、最先端の積層セラミックコンデンサを開発し続けています。

2020年度の業績は、通信機器向けの売上が前年度と比べ減少したものの、民生機器向け、情報機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けの売上が増加したことにより、売上高は10.6%増の1,951億98百万円となりました。

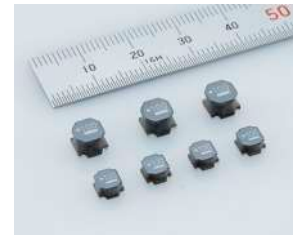
フェライト及び応用製品※

- 巻線インダクタ
- 積層チップインダクタ

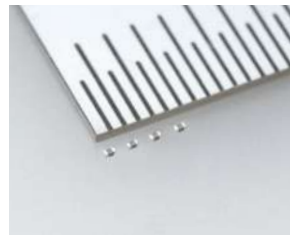
※2021年度より、製品区分の名称を「インダクタ」に変更しました。
区分に含まれる製品の変更はありません。



メタル系パワーインダクタ
「MCOIL™ (エムコイル)」

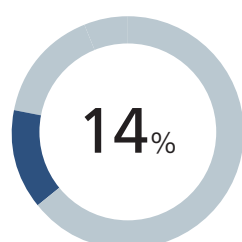


フェライト系巻線パワーインダクタ

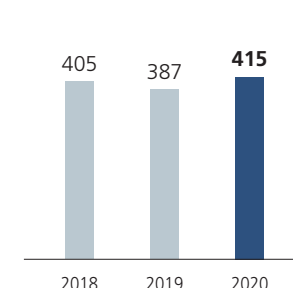


超小型積層チップインダクタ

売上構成比
(2020年度)



売上高の推移
(単位：億円)

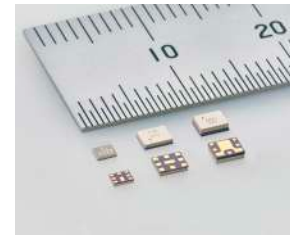


小型、薄型、大電流対応のインダクタに加え、自動車・情報インフラをターゲットとした大型、高信頼性のインダクタの開発に取り組んでいます。材料開発、巻線・積層プロセス技術を高度化させることで、競争力ある商品を開発しています。

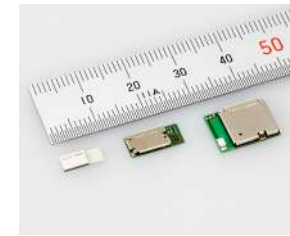
2020年度の業績は、情報機器向け、通信機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年度比で増加したことにより、売上高は7.2%増の415億64百万円となりました。

複合デバイス

- モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)
- 回路モジュール



モバイル通信用デバイス
(FBAR/SAW)

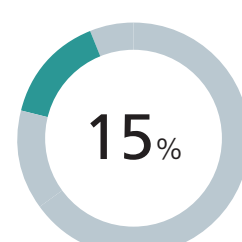


無線モジュール

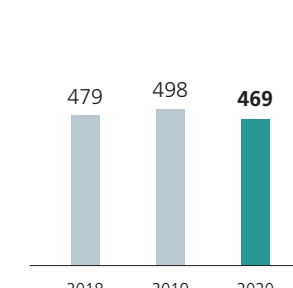


積層セラミックフィルタ

売上構成比
(2020年度)



売上高の推移
(単位：億円)



モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)の技術を高めた新商品の開発、5G(第5世代移動通信システム)に向けた次世代商品の開発、注力市場に向けて太陽誘電のコア技術を融合したソリューション型商品の開発に注力しています。

2020年度の業績は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)や回路モジュールなどの売上が前年度比で減少したことにより、売上高は5.8%減の469億30百万円となりました。

その他

- アルミニウム電解コンデンサ
- 蓄電デバイス

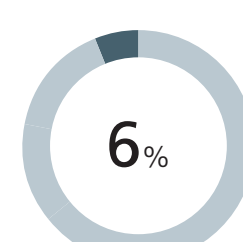


アルミニウム電解コンデンサ

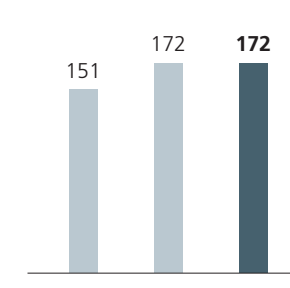


リチウムイオンキャパシタ

売上構成比
(2020年度)



売上高の推移
(単位：億円)



注力市場へ向けてアルミニウム電解コンデンサや蓄電デバイスの商品開発に注力しています。

2020年度の業績は、前年度比0.4%減の172億27百万円となりました。